

図3 恵山 赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による溶岩ドーム周辺の地表面温度分布  
(上段：2006年10月30日、下段2007年10月31日 図2の①方向から撮影)

・溶岩ドーム西側に位置するX火口では火口底付近から10m程度、Y火口では火口壁上部から10～30m程度の、また火口底からも10m以下の白色の噴気が認められました。地熱域の分布は前回(2006年10月)と比較して特段の変化はありませんでした。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

表1 恵山 地震・微動の月回数 (ドーム北)

2006～2007年	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
地震回数	16	12	17	20	19	17	11	28	17	68	78	17
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

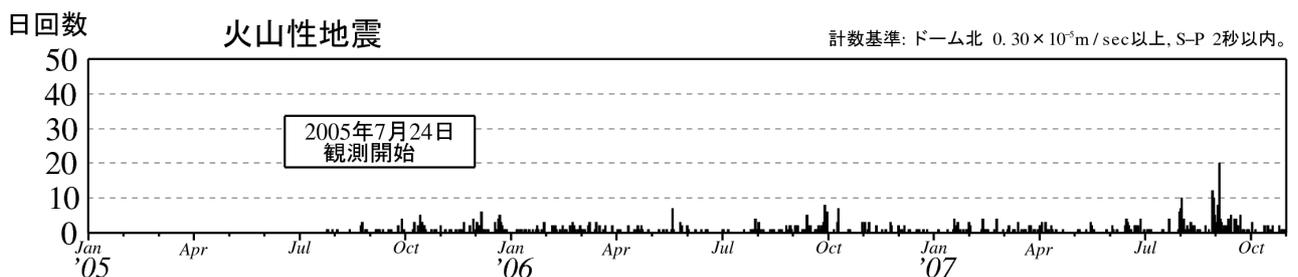


図4 恵山 日別地震回数 (2005年7月～2007年10月)